2022年度活動実績

【10 月 11 日より「第 14 回赤い羽根チャリティ展覧会」が開催】

〇掲載元：大学 HP
〇分　類：学外イベント・情報表現領域
〇期　間：10 月 11 日～

令和 4 年 10 月 11 日(火)より名古屋市昭和区にあります社会福祉協議会におきまして、第 14 回赤い羽根チャリティ展覧会が開催されています。
3 年ぶりの開催で、本学卒業生の「安藤シオンさん」「塩谷真代さん」をはじめ非常勤講師のはまだ先生、特任准教授木村先生も出品されます。

【第 74 回岐阜市美術展で映像文学領域の学生が多数受賞】

〇掲載元：「ハートフルスクエアー」HP（https://gikyobun.or.jp/heartful/shogaigakushu/bunka/fes/bijyutu/）
〇分　類：受賞・映像文学領域

第 74 回岐阜市美術展において映像文学領域の学生が受賞・入選しました。
おめでとうございます！

【空間作法領域の学生らの作品が「大府市すわるアートコンテスト」で優秀作品に選ばれました！】

〇掲載元：大府市 HP（https://www.city.obu.aichi.jp/kurashi/event/1022858.html）
〇分　類：受賞・空間作法領域

空間作法領域 3 年生の木村 摘麦さん 、鈴木 麻名見さん、HUANG HSUAN YU(ファン シュアン ユ)さんの作品が「大府市すわるアートコンテスト」で優秀作品に選ばれました。
おめでとうございます！
Wed サイトでコンテストの詳細をご覧いただけます。
また令和 5 年 3 月に、人間環境大学東側の鞍流瀬川沿いの緑道に設置する予定です。

GRAPE CUBES

【「すわるアートコンテスト」で選ばれた作品の除幕式が行われました！】

○掲載元：大府市 HP
（https://www.city.obu.aichi.jp/shisei/mayors/photo_news/1025725/1026304/1026695.html）
○分　類：空間作法領域

空間作法の学生の作品が、すわるアートコンテストの優秀賞に選出され実物の制作をしました。
大府市の鞍流瀬川沿い緑道に設置され、3 月 22 日(水)に除幕式が行われました。
また、3 月 28 日(火)の中日新聞に掲載されました。

17 知多 2023年(令和5年)3月28日(火曜日) 中

大府に「すわるアート」

座ることができるアート作品を公募した大府市の「すわるアートコンテスト」で優秀作品に選ばれた二作品が二十二日、同市江端町の緑道でお披露目された。

ウオーキングコースにもなっている鞍流瀬川西側の緑道に、市が写真映えするベンチを募集したところ、プロとアマチュアの十七作品が集まった。昨年十月に二点の優秀作品が決まり、市から原材料費の補助を受けた受賞者たちが制作してきた。

一級建築士でデザイナーの本田耕さん(三三)＝新潟市＝の「Living Layer」（リビング・レイヤー）は角材を組んで重ね合わせた作品。対面で座れるほか、キッチンカーの食事を置くカウンターや、サイクリングの自転車を立てかけられるなど、工夫が凝らされている。

名古屋造形大（名古屋市北区）三年の木村摘麦さん、鈴木麻名見さん、ファン・シュアン・ユさんのグループは「GRAPE CUBES」（グレープ・キューブス）を制作した。大小の立方体で市特産のブドウを表現しており、おしゃべりや川の風景を眺めるなどの利用を想定した。鈴木さんは「どこに座るかで異なる使い方ができる。思い出をつくる場所になれば」と作品を説明した。（栗山真寛）

自作に腰掛ける本田さん（手前）と、除幕した岡村秀人市長（左から3人目）ら＝いずれも大府市江端町で

角材重ねる　1級建築士本田さん

座り心地を確かめる名古屋造形大の皆さん

立方体 ブドウ表現　名造形大生

【デザイン系大学・専門学校の産学官連携デザイン展「Creative Collaboration」にて本学から商品化された作品が展示されます。】

○掲載元：国際デザインセンターHP（https://www.idcn.jp/archives/custom_event/30th_ccdo_221214）
○分　類：学外イベント・産学連携
○期　間：12 月 14 日 ～ 2022 年 12 月 19 日

デザイン系大学・専門学校の産学官連携デザイン展「Creative Collaboration」にて、産学官連携プロジェクトの３作品が展示されます。是非お立ち寄りください。

Creative Collaboration
【会　期】2022 年 12 月 14 日（水）～ 2022 年 12 月 19 日（月）
　　11:00 ～ 19:00（最終日は 18:00 まで）
【会　場】国際デザインセンター 4F ギャラリー
【入場料】無料

【クリスタル広場のサイネージを利用した学生作品の上映会「LED」に今年も参加しています】

〇掲載元：サカエチカマチ(株)　HP（https://sakaechikamachi.co.jp/infos/view/539/）
〇分　類：学外イベント・情報表現領域
〇期　間：1 月 12 日 ～ 2 月 3 日

栄地下にあるクリスタル広場のサイネージを利用した学生作品の上映会「LED」が今季も開催されています。「LED」はこの地域にある映像メディアを専門とする大学の学生達の映像作品を集め上映するというものです。

今回、名古屋造形大学からは、情報表現領域 1 年生の選択必修授業「モーショングラフィックス基礎」の課題として取り組んだ作品 10 作品を上映しています。

クリスタル広場の柱を囲むように備え付けられたサイネージビジョンの特徴的な形状を意識して 15 秒のモーショングラフィックス作品を作るという課題に 54 名が挑戦しました。数ある作品の中から良いと思う作品をそれぞれ 10 作品選んでもらい、その評価数の多かった作品上位 10 作品をまとめています。1 年生の基礎授業課題でまだ未熟なところはありますが、それぞれ個性的な表現ができているのではないかと思います。

クリスタル広場にお越しの際は是非ご覧ください。

【参加校】
愛知県立芸術大学 ／愛知淑徳大学 ／情報科学芸術大学院大学(IAMAS)／椙山女学園大学／名古屋学芸大学／名古屋芸術大学／名古屋造形大学

【在学生が「CCC ポスターコンペティション 2023」で優秀賞や審査員特別賞を受賞！他にも受賞者複数！】

○掲載元：「CHUBU CREATORS CLUB」HP（https://www.ccc1973.com/theme178.html）
○分　類：受賞
○期　間：9 月 3 日～ 9 月 10 日

『CCC ポスターコンペティション 2023』に在校生が複数受賞致しました！
おめでとうございます！
詳しくは Web でご覧いただけます。

受賞者
【優秀賞】
松原 史華

【審査員特別賞 伊藤豊嗣選】
程 上峰

【審査員特別賞 山内瞬葉選】
磯部 勇太

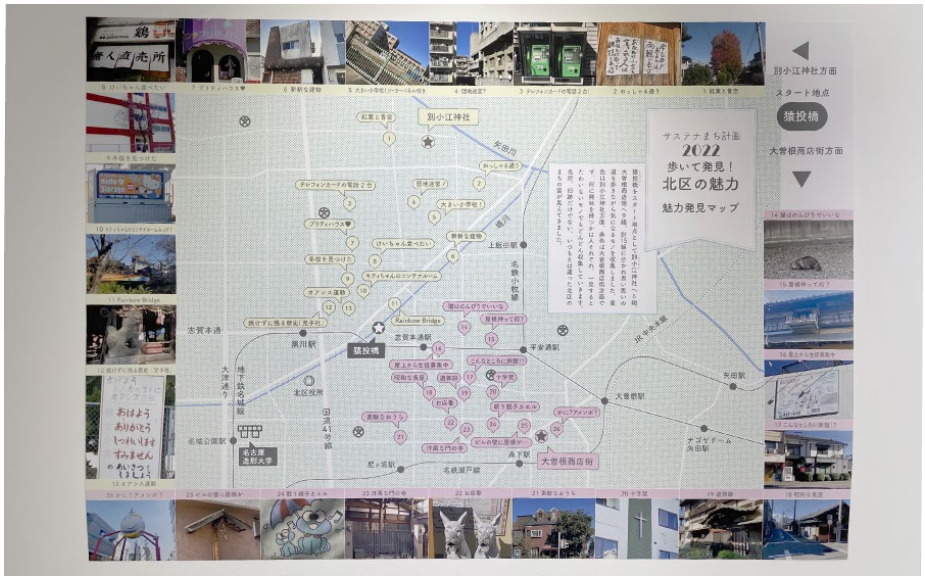
【審査員特別賞 喜多紀和選】
髙橋 勇次

【入賞】
磯部 勇太・岩月 琴音・大森 あおい・奥村 來未・ZHU WENYU・菅沼 綾花・中村 岳寛・范 宸銘

【「サステナまち計画 2022 歩いて発見！北区の魅力」アーカイブ展示が開催されています。】

○掲載元：大学 HP
○分　類：学外イベント・産学連携
○期　間：2 月 24 日 ～ 2 月 26 日

名古屋造形大学 スペース 02 にて「サステナまち計画 2022 歩いて発見！北区の魅力」の取り組みについて展示が行われています。
ワークショップ当日参加者が制作した「魅力発見マップ」の全貌、またワークショップ後に行った参加者へのインタビューなど。江津ゼミ生制作の「魅力発見マップ」のフライヤーもございます。



【同朋大学連携　「徳川創業史料の世界」 を開催します（同時開催：大河ドラマ「どうする家康」パネル展示（主催／NHK 名古屋放送局)】（別紙資料）

〇掲載元：大学 HP
〇分　類：学内イベント
〇期　間：2023 年 4 月 14 日 ～ 24 日

徳川家康（1543-1616）は戦国乱世を終結させ、江戸幕府を開いた人物として知られますが、その覇業の歴史はどのように語り継がれたのでしょうか。江戸時代を通じて多くの編纂物が制作され、その中で家康の原風景を垣間見ることもできれば、家臣たちの武勲伝、家康と戦った側の歴史像、家康の神格化（東照大権現）の問題など、さまざまなテーマを見出すことができます。今回の展示では徳川創業を物語るさまざまな文献史料（第一章)、また家康とその周辺の人物に関わる絵画・文献史料（第二章）を紹介します。

【第二期：同朋大学へ巡回します】
本展時は同朋大学との協働企画です。本学での展示終了後、パワーアップして、７月には同朋大学（名古屋市中村区）で開催します。

展示企画プロデュース
安藤 弥 Ando Wataru（同朋大学 文学部 教授）
同朋大学 佛教文化研究所 所長。大河ドラマ「どうする家康」第７～９話に「資料提供」をして関わるとともに、脚本等への助言を行いました。さらに第７話に出演もしました。

同時開催
観覧無料 大河ドラマ
「どうする家康」パネル展示
開催期間中に、大河ドラマ「どうする家康」の出演者等身大パネルなどの展示も同時開催します。等身大パネルは、徳川家康はじめ５体程度を予定しており、写真撮影も可能です。（主催：ＮＨＫ名古屋放送局）

■会期：2023 年 7 月 7 日（金）～18 日（火）
　　9:30-17:00（最終日は 16:00 まで）
　　（日・祝は閉室となります（土は開室))
■会場：同朋大学　Do プラザ閲蔵 1 F ギャラリー（観覧無料）
■ギャラリートーク：2023 年 7 月 8 日（土）14:30～（30 分程度）
解説：安藤　弥（同朋大学 文学部 仏教学科・教授）

【本学メインギャラリーにて『日墨交流現代美術展』を開催しています。】

※本日も開場しております

〇掲載元：大学 HP
〇分　類：美術表現領域

【会　期】 5 月 9 日(火) - 5 月 27 日(土) 11:00 - 19:00
【休　廊】土・日（27 日は開廊）
【会　場】名古屋造形大学メインギャラリー

本展覧会は、メキシコベラクルス州立大学×福井大学×名古屋造形大学×神戸芸術工科大学の 4 大学共同企画による日本とメキシコの現代美術交流作品展です。
2017 年より継続されてきた福井大学とベラクルス州立大学（造形美術研究所）の文化交流を起点とし、日本・メキシコ両国における芸術教育・研究および創作活動を活性化し、地域社会への文化貢献と芸術教育への理解の促進を目的として企画されました。今回は特にメキシコベラクルス州立大学・美術研究所創立４５周年を記念した展覧会に出品された矢作隆一教授とその作家作品を軸に 、福井大学の坂本太郎教授をはじめとする共同企画大学である名古屋造形大学に所縁のある作家・研究者の作品群が加わり、52 点を有する多様な表現で文化交流の成果の一端を発信しています。
本展覧会は、福井大学、名古屋造形大学、神戸芸術工科大学を巡回し、神戸芸術工科大学においては谷口文保教授による企画で、４大学の代表者に学芸員と作家を交え、芸術と国際交流を主題としたシンポジウムの開催を予定しています。
作家のもつ文化背景や年齢は多岐にわたる作品群ですが、そこから見える文化や感受性の多様性、そして、全ての作家に通底する創作に対する姿勢などを感じ取っていただけたら幸いです。

ご高覧ご高導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「建築新人戦 2022」：地域建築領域、尾崎菜々莉さん・山田隼輔さんが「入賞（100 選)」

全国の建築系教育機関でとりくんだ学生の設計課題作品を対象とする「建築新人戦 2022（応募総数は 768 作品)」のなかから、地域建築領域の学生・尾崎菜々莉さんと山田隼輔さんがそれぞれ「100 選」に入賞。世界的にも有名な大阪梅田スカイビルに展示されました。

尾崎菜々莉さん：「まちの学校-木と学びから

山田隼輔さん：「KOKAGE STATION-街とつくる・まなぶ駅舎-」

「愛知県建築系 15 大学合同企画展 2022」：地域建築領域、安達元輝さんが「奨励賞」

愛知県の建築系 15 大学が、各大学で取り組んだ代表作品（１作品）を展示してお互いに講評をしあう合同企画展（場所：名古屋都市センター）に本学からは地域建築領域の安達元輝さんの作品が選ばれて展示され、合同講評会において「奨励賞」を受賞しました。

安達元輝さん：「佐見の森複合センター -流動する白川の豊かさ-」

2023 年度名古屋造形大学ギャラリー特別企画展のご案内

KAIDO KENTA SOLO EXHIBITION

CASE

2023年度名古屋造形大学ギャラリー特別企画展
この度、名古屋造形大学ギャラリーにて海道建太の個展を開催いたします。
海道は雑誌、書籍、TVCM、店内装飾など幅広い分野の仕事を手がけるイラストレーターであり、名古屋造形大学の卒業生です。
本展示では、これまで手がけてきた様々なクライアントワークに加え、
本年5月に東京兜町のオルタナティブスペース「AA」で行われた個展にて発表したアートワークやアイテム、
本学の学生と共同制作したインタラクティブ作品も初披露します。
また、卒業から12年間のイラストレーターとしての活動について、一人の卒業生の事例として講演会も開催します。

名古屋造形大学
NAGOYA ZOKEI UNIVERSITY

2023／06／23（金）ー 07／09（日）11:00−18:00（入場無料・月曜閉館）
名古屋造形大学 ギャラリー／ BOX02 ／ BOX03 ／ BOX06　講演会「1CASE」:2023／06／24（土）15:30開場　16:00開始

https://www.nzu.ac.jp / 愛知県名古屋市北区名城2丁目4番1/地下鉄名城線名城公園駅直上（2番出口を利用）
※学内に来客用駐車場はございません。お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

@kaidokenta →